

## 琵琶湖と共生するホテルで とびきりのウェディングを

守山市の琵琶湖畔にあるヤンマーマリーナ内に2013年9月、リゾートホテル「セトレ マリーナ びわ湖」がオープン。「琵琶湖との共生」をコンセプトにしたホテルとあって、館内においても時間とともに移ろう湖の素晴らしい景観を楽しめ、夕暮れには比良の山々に沈む絶景の夕陽も見られる。滋賀の森の木を使った家具を、全14室の客室やラウンジなどに配置。湖の水源となる森林の再生に貢献したいとの思いからだ。

ホテルは建築家・芦澤竜一さんが設計。風や光、土などの自然素材を取り入れた空間が随所に広がる、格別の心地良さ。中でも見事なのが、チャペルとして利用できる総木造のミュージックホール。風で弦を震わせるエオリア、ハープという楽器をイメージして造られ、天井に張った何本もの弦が琵琶湖から吹き込む風と共に鳴して音が鳴る。自然の風が奏でる神秘的な音に包まれて、挙式を挙げられる。「守山市Rose Farm KEL」さんの和バラを使ってブーケセレモニーをしたり、高島市で作られたお米のキャンドルを灯したり。地域の資源を活用したウエディング

により一層力を入れていきたい」と企画ディレクターの菊池玲奈さん。

ウェディングでも供される本格イタリアンの評判も上々。「リストランテ ミア・アルベルゴ」はミラノで約100年続く老舗リストランテの姉妹店。ここではシェフが探し出した滋賀の食材を使つた「だわりの料理を味わえる。滋賀の魅力が詰まつたホテルで、自然と一体化する感覚を楽しみたい。



1: 木の香りが漂う「ミュージックホール」。目の前に琵琶湖が広がる。2: まるでミュージアムのような美しい建物。宿泊はドリンクインクルーシブ形式(アルコールを含むドリンク代込)。3: 湖畔のパンケットルーム。クルーザーから新郎新婦が入場することも。4: 地元の素材とイタリアの伝統の技が融合する「リストランテ ミア・アルベルゴ」の料理。

